

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 2 区分
【発行日】平成 26 年 6 月 19 日 (2014.6.19)

【公表番号】特表 2013-526075 (P2013-526075A)
【公表日】平成 25 年 6 月 20 日 (2013.6.20)
【年通号数】公開・登録公報 2013-032
【出願番号】特願 2013-508593 (P2013-508593)
【国際特許分類】

H 0 1 L 33/58 (2010.01)

【 F I 】

H 0 1 L 33/00 4 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 4 月 24 日 (2014.4.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

発光上面を有する L E D ダイと、

前記 L E D ダイに接続された電極及びボディを有し、前記 L E D ダイを含むパッケージと、

前記ボディに搭載された、丸みを帯びた方形レンズと、を有し、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記上面に平行な平面において、丸みを帯びた角を有し、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記丸みを帯びた方形レンズの対角線方向の断面に沿って実質的に半円状の面を有し、前記丸みを帯びた方形レンズの前記対角線方向の断面は前記対角線方向の断面の幅よりも小さい第 1 の幅を有し、前記実質的に半円状の面は前記 L E D ダイの前記上面の実質的に中心点上に最大高さ H を有し、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記丸みを帯びた方形レンズを二分する前記丸みを帯びた方形レンズの幅寸法に沿って半円状でない弾丸形状の面を有し、前記弾丸形状の面は前記第 1 の幅よりも小さい第 2 の幅を有し、前記弾丸形状の面は前記 L E D ダイの前記上面に前記実質的に半円状の面が有する前記最大高さ H と一致する最大高さ H を有し、

前記丸みを帯びた方形レンズの表面は、前記実質的に半円状の面と前記弾丸形状の面との間で、前記 L E D ダイの前記上面において尖った角を有することなく滑らかに移行しており、

前記丸みを帯びた方形レンズは、前記 L E D ダイが活性化されると、実質的にランバートな光放射パターンをつくる、L E D 装置。